

絹委員会
中国市場調査小組派遣の報告書

青島市～南京市～無錫市

蘇州市～桐郷市～杭州市



2005年6月
日本繊維輸入組合

目 次

《はじめに》	1
一、 団員名簿	2
二、 日程表	3
三、 中国主要シルク産地の概況	4
四、 訪問先	6

《山東省》

1. 山东省国际经济贸易联合会	9
2. 青岛海润投资集团有限公司	11
参考「新华锦集团」	13
(工場)	
3. 青岛绮丽高级时装有限公司 (第一工場)	14

《江蘇省》

4. 江苏苏豪国际集团股份有限公司	15
(工場)	
5. 南京云织锦研究所&博物馆	16
6. 江苏苏豪国际集团丝线实业有限公司 (JG-01工場)	17
7. 苏州东吴丝织厂有限责任公司	18
参考「苏州开发区」	19

《浙江省》

8. 浙江凯喜雅国际股份有限公司	20
(工場)	
9. 江华芝丝绸有限责任公司 (Z-80工場)	22
10. 桐乡市华良丝绸有限责任公司	23
11. 杭州富强丝绸有限公司	24
《あとがき》	25

はじめに

絹委員会としての訪中は、2000年9月に生糸委員会（2001年6月に生糸・絹織物の両委員会が統合）がミッションを派遣してから5年ぶりになります。

2004年末を以って長期間に亘ったシルクの輸入制限がフェードアウトされ、晴れて自由化となりました。1976年に太宗を占める中国の生糸、絹燃糸、絹織物が日中政府間絹製品数量取り決めによる輸入管理体制が実施されてから約30年間近く継続されましたが、この間、制限の中にあっても中国のシルク関係の政府機関始め多くの公司、工場関係者との長年の協力、合作関係を築きあげて今日に至っております。

しかしながら、数多くの功罪両面を持ち合わせていたことは間違いのないことではありますが、シルク輸入業界に身を置くひとりとして、この業界こそがシルク需要の裾野拡大に最も寄与したのではないか思っております。

今回、自由化されてから約半年近くになりますが、主要貿易会社が世界貿易に対する取り組み方や発展させるためにどのような方策を講じているか、更には対日向けの粗原料の輸出においても従来の枠内商売から脱し、我が国が求める商品に対応するため輸出戦略の変更による新たな品質改善、開発が進めていることから、この点の実情を調査し、今後、いかに日中シルク貿易を発展させビジネスチャンスに結びつけていくかを目的として小人数の小组を派遣しました。

小组は、6月23日（木）～6月28日（火）の6日間に北京を除くシルク産地である山東省、江蘇省、浙江省の主要都市を時間の許す限り、関係機関との懇談、工場視察と精力的に廻り、ほぼ所期の目的が達成できたものと考えております。また、組合の小组の受け入れには多くの「老朋友」のご尽力を賜りましたことを心から厚くお礼を申し上げます。

謝々



(中山陵)

一、団員名簿

	氏名	組合役職	会社名	会社役職
団長	川村 孝 KAWAMURA TAKASHI	委員長	(株)G S Iクレオス	繊維貿易部 東京営業課長
団員	吉岡 正博 YOSHIOKA MASAHIRO	副委員長	北西産業(株)	代表取締役 社長
〃	関 俊夫 SEKI TOSHIO	〃	太洋物産(株)	生活産業部 部長
〃	鳥谷 正寛 TORIYA MASAHIRO	〃	N I 帝人商事(株)	大阪アパレル第一部 第二課 主事
〃	神保 敬一 JIMBO KEIICHI	事務局	日本繊維輸入組合	参事
〃	森 昇 MORI NOBORU	〃	〃	主事
通訳	徐 金華 XU JIN HUA			



(中山陵)

二、日程表

日 程	時 間	概 要	備 考
6月23日 (木)	09:25~11:40	成田発 (J L 7 8 3 便) →青島着	専用車で移動 青島泊
	10:20~12:30	関空発 (NH 1 5 7 便) →青島着	
	15:00~16:20	山東省国際経済貿易連合会表敬訪問	
	16:30~18:20	青島海潤投資集团有限公司(山東省絲綢集團進出口公司)と懇談	
6月24日 (金)	10:30~12:00	青島綺麗高級時装有限公司工場視察	専用車で移動
	14:30~15:40	青島発 (S C 4 6 0 5 便) →南京着	専用車で移動 南京泊
	17:00~18:30	江蘇蘇豪国際集团股份有限公司 (江蘇省絲綢集團進出口公司) と懇談	
6月25日 (土)	11:00~12:00 午後	南京雲錦研究所、同博物館視察 市場調査	専用車で移動 南京泊
6月26日 (日)	08:30~16:30	南京発→無錫→蘇州着	専用車で移動 蘇州泊
	10:30~13:40	S O H O 糸織実業有限公司と懇談及び工場視察	
	16:45~18:10	蘇州東呉糸織廠有限責任公司工場視察	
6月27日 (月)	08:30~16:00	蘇州発→桐郷→杭州着	専用車で移動 杭州泊
	09:30~10:40	浙江華芝絲綢有限責任公司と懇談及び工場視察	
	11:00~13:40	桐郷市華良絲綢有限責任公司と懇談及び工場視察	
	16:00~17:50	浙江凱喜国際股份有限公司 (浙江省絲綢集團進出口公司) と懇談	
6月28日 (火)	10:30~12:00	杭州富強絲綢有限公司と懇談及び工場視察	専用車で移動
	13:00~17:00	杭州発 (J L 6 3 6 便) →成田着	
	13:40~16:55	杭州発 (NH 9 5 2 便) →関空着	

三、中国の主要シルク産地の概況

(全般的)

全般的な蚕糸・絹業の概況は、過去紡織品の最大輸出商品であったが、近年の改革・開放政策による自由貿易経済体制のなかで大きく変容するに至った。

改革以前の中国のシルク業界は、外貨獲得の最たる商品であったことから粗原料の工場はほとんどが国営企業であった。しかし現在では、シルク関連の製糸、撚糸、製織、精練染色などの工場約2,500社のうち国営企業としては5%前後の120社ほどで一部を除いてほとんどが赤字企業であると言われている。

(シルク生産の現状)

養蚕農家は、約2,000万戸、生糸生産量は100万俵前後で縮小傾向に推移しているが、最近では量より用途にあった品質を重視し、「三眠蚕」など産種の改良、なかには雄繭の研究も行なわれている。

また、自動製糸機の普及も目覚しく年々拡大し全体の75%を占めるようになってきた。同様に新たな撚糸機の導入も進み、また、最近、織りだけでなくトリコットなどニット需要の増大により新型編み機の導入等が拡大している。

(春繭買い入れ見通し)

2005年の春繭の収繭期を控え、全国的には前年比横這いか減が見込まれることから生糸価格の影響が懸念されている。需給バランスを勘案の上、自己責任において繭生産農家から繭買値を決定する市場経済となり、相場を見越しての仕手戦介入がみられ、政府指導価格700元/担(1担あたり50Kg)での買い付けは困難な状況になっている。

(養蚕の新たな動き)

主要産地である山東省、江蘇省、浙江省の従来の養蚕農家地帯は、他の作物への転換や工業開発が進み桑畑の減少傾向にあるが、これらの主要産地からの雲南省や広西壮族自治区などの西部地区への資本投入により収繭量が確保されつつある。

一方、良質の繭となると江蘇省の南通市より以北の黄海沿いの海安、東台、塩城、阜寧など、浙江省の春江川沿いの淳安、建徳、蘭溪、武義など養蚕奨励策によって収繭期毎高い評価を得ている。

(対外貿易の動き)

近年の中国の紡織品の貿易をみると、中国国内のアパレルメーカーからの粗原料の発注により衣類および二次製品での輸出が増大しており、繭や糸での原料輸出の比率は低下している。

しかし、特定地域への織物輸出については増加に推移しており、特に中近東向けの「アバーヤ」、
「チャドル」などに供される薄地のデシンやジョージェット、また、インド向けの「サリー」などに供される生地
の輸出が拡大している。しかし、「サリー」は民族衣装であることから日本の「きもの」需要の衰退を連想させられるので不安があると言われている。

(日本向けの貿易)

日本は2005年1月より自由化されたが、日本への生糸、絹糸及び織物の大きな輸出増加はみられない。これは日本での主要用途である和装関係の需要が停滞していることが一因となっている。また、洋装用途についても高品質、小ロット、低価格の取り引きが続いていることから日本市場の需要は横這いか漸減傾向に推移しているのが実情である。

対日向けの和装用に供される生地の製織工場は長年取り引きのある限られた工場に限定されている。

(全体的な貿易動向)

2004年のシルクの貿易額をみると全体で約35億ドル（前年対比108%）のうち、商品別では、糸類（くず糸含む。）4.8億ドル（同114.5%）、織物類5.9億ドル（同142.9%）、その他製品類24.3億ドル（同102.5%）の輸出が見込まれた。

《参 考》

中国製糸に関わる生糸価格の一般的な試算（A産地5Aの場合）

- ・生 繭 19,000元/トン（950元/担）
- ・乾 繭 換 算 比 2.5（乾燥経費平均2,000元/トン）
- ・平均糸歩留まり 0.33
- ・製糸加工賃平均 25,000元/トン
- ・生 糸 値 184,000元/トン
- ・梱包、搬送等の諸チャージ平均 3,000元/トン
- ・輸 出 価 格 187,000元/トン÷8.5元/\$（換算レート）

$$= 22.0 \text{ドル/Kg}$$

四、訪問先

1 日目

《山東省》

◇山东省国际经济贸易联合会

1. 日 時：2005年6月23日（木）15：00～16：20
2. 場 所：連合会 會議室
3. 面談者：会 長 刘国栋（L i u G u o D o n g）
副会長 原 野（Y u a n Y e）
副秘書長 卢恩荣（L u E n R o n g）
通 訊 荣振潔（R o n g Z h e n J i e）

◇青島海潤投資集團有限公司

1. 日 時：2005年6月23日（木）16：30～18：20
2. 場 所：投資集團 會議室
3. 面談者：總 裁 郑山洪（Z h e n g S h a n H o n g）
青島海潤投資集團有限公司
進出口第一本部 總經理 王 莹（W a n g A l i c e）
" 副總經理 朱春花（Z h u C h u n H u a）
進出口第二本部 本部長 石康強（S h i K a n g Q i a n g）
" 副本部長 刘忠英（L i u Z h o n g Y i n g）
山東省正信紡織有限公司科長 李 箭（L i J i a n）
" 薛德文（X u e D e W e n）

2 日目

◇青島绮丽高級时装有限公司（第一工場）

1. 日 時：2005年6月24日（金）10：30～12：00
2. 場 所：青島市（丹山工業園）
3. 面談者：總經理助理 傅巧婷（F u Q i a o T i n g）

《江蘇省》

◇江苏苏豪国际集团股份有限公司

1. 日 時：2005年6月24日（金）17：00～18：30
2. 場 所：公司 會議室
3. 面談者： 總經理 黃興明（H u a n g X i n g M i n g）

江蘇蘇豪國際集團蠶絲分公司

- 總經理 張朝武（Z h a n g C h a o W u）
副總經理 馬宏偉（M a H o n g W e i）
經理 吳江天（W u J i a n g T i a n）

江蘇蘇豪國際集團絲綢分公司

- 副總經理 朱 毅（Z h u Y i）
劉 業（L i u Y e）

江蘇蘇豪國際集團絲織實業有限公司

- 業務主管 梁美虹（L i a n g M e i H o n g）

上海蘇豪國際貿易有限公司

- 副董事長 陳 振（C h e n Z h e n）

蘇州蘇豪實業發展有限公司

- 副總經理 張曾平（Z h a n g Z e n g P i n g）

3 日 目

◇南京云錦研究所&博物館

1. 日 時：2005年6月25日（土）11：00～12：00
2. 場 所：南京市
3. 案內人： 王 紅（W a n g H o n g）

4 日 目

◇江苏苏豪国际集团丝线实业有限公司（JG-01工場）

1. 日 時：2005年6月26日（日）10：30～13：40
2. 場 所：無錫市
3. 面談者：董事長 劉正平（L i u Z h e n g P i n g）
副總經理 任寶珍（R e n B a o Z h e n）
" 吳建軍（W u J i a n J u n）
業務主管 梁美虹（L i a n g M e i H o n g）

◇苏州东吴丝织厂有限责任公司

1. 日 時：2005年6月26日(日) 16:45~18:10
2. 場 所：蘇州市(新区)
3. 面談者：總經理 鄧 健 (J i a n D e n g)
副總經理 沈洪雷 (S h e n H o n g L e i)
處長 何敏蘇 (H e M i n S u)

5 日 目

《浙江省》

◇浙江华芝丝绸有限责任公司 (Z-80工場)

1. 日 時：2005年6月27日(月) 09:30~10:40
2. 場 所：桐鄉市
3. 面談者：總經理 周丽娟 (Z h o u L i J u a n)

◇桐乡华日织造有限公司

1. 日 時：2005年6月27日(月) 11:00~13:40
2. 場 所：桐鄉市
3. 面談者：總經理 张美华 (Z h a g M e i H a o)
副總經理 陈金良 (C h e n J i n L i a n g)

◇浙江凯喜雅国际股份有限公司

1. 日 時：2005年6月27日(月) 16:00~17:50
2. 場 所：公司 會議室
3. 面談者：董事長&總經理 李继林 (L i J i L i n)
副總經理 呂 幸 (L u X i n g)
紡織品分公司 經理 高建明 (G a o J i a n M i n g)
蠶絲分公司貿易一部 陈光復 (C h e n G u a n g F u)

6 日 目

◇杭州富强丝绸有限公司

1. 日 時：2005年6月28日(火) 10:30~12:00
2. 場 所：杭州市(萧山經濟技術開發区)
3. 面談者：董事長&總經理 陈张仁 (C h e n Z h a n g R e n)

《山東省》

1. 山东省国际经济贸易联合会 (Shan Dong International Business Union)

▲住所：青島市山東路40号廣發金融大廈1802室

Tel：86-532-85010819

Fax：86-532-85010711

▲会長 刘国栋 (L i u G u o D o n g)

会長は、山東省政協委員、山東省外經貿委副主任の肩書きを持つ。

山東省國際經濟貿易連合会は、2002年12月に濟南において設立大会が開催され、山東省人民政庁の批准を経て認可され成立した。山東省外經貿系の9の協(学)会と143公司の外經貿企業から組織され、行政機關が管理しない民営による非營利の総合的な業界調整、仲介を司る組織であり、現在では約1,000社以上が会員になっている。本連合会は青島市と濟南市に事務所を置いている。

本連合界は、会員企業の海外進出の援助や海外企業の中国への投資援助などにより外貨を獲得し、社会主義市場經濟發展のために國際經濟及び貿易を促進し、各業界が協調して企業の利益を確保することに取り組むことを目的とする。

現在、世界18ヶ国、約40機関と經濟・貿易促進のために連携をとっているが、日本は山東省と最大のパートナーであり日本企業との人的交流が頻繁に行われ、日本企業が最多の顧客になっている。シルク産業に関しては山東省のシルクが中国全土の中で最も輸出されており、2004年の輸出総額は、繭の生産量が平年よりも減産ながらも約1億米ドルで前年比約20%増加した。

(山東省國際經濟貿易連合会の主要な職能は、)

- ・ 政府部門を主管する事項を会員に反映させ、会員の共益を遵守することおよび政府の政策制定に対する諮問と提言を行う。
- ・ 会員間の連係、調和、交流と協調を促進し、内外の關係業界と友好的な協調体制を成育し、会員企業のために一層広い市場と多くの協調交流を行う。
- ・ 國際經濟貿易情報を収集して会員のために提供し、確かな情報コンサルティングサービスと國際市場を開拓するために会員を組織するなど對外貿易サービスを行う。
- ・ 会員に關係する内外の見本市、展示即売会などへの参加活動することを促進し、会員を組織して海外の市場調査、セールス、技術の情報交換等の交流を行う。

- ・ 会員の利益を損なうADなどの訴えに対し調査するために専門家を組織して対応する。また、会員の自立を図るために規範的な経営の助言、業界の正常な経営秩序を遵守させる。
- ・ 会員を組織して関係する問題の専門知識習得の学習と訓練を行い、交流と活動するために研究討論し、海外投資企業との苦情を訴えに対しては、論争の調査を行い援助する。

(省政庁、省外経貿委の関連団体を始め山東省の民営の有力企業のほとんどが会員になっており、繊維製品では省最大の貿易公司の新華錦集団、シルク関係では青島海潤投資集団有限公司も名を連ねている。設立間もないこともあり、実際の運営はこれからであるが、各分野の実力のある企業が改革開放を進め100%の民営企業として活動するなかでの政と民との間を仲介する役目の組織として、今後の活躍が期待される。)

連合会の協(学)会

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 山東省外経貿企業協会 | 2. 山東省外商投資企業協会 |
| 3. 山東省対外経済合作企業協会 | 4. 山東省境外企業協会 |
| 5. 山東省経済開発区協会 | 6. 山東省外経貿科技協会 |
| 7. 山東省外経貿運輸貨主協会 | 8. 山東省国際貨運代理協会 |
| 9. 山東省外経貿会計学会 | |

分支機構

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 紡織服装産品進出口工作委员会 | 2. 機電産品進出口工作委员会 |
| 3. 農副産品進出口工作委员会 | 4. 招商促進工作委员会 |
| 5. 対外承包工程勞務工作委员会 | 6. 山東省国際経貿信息中心 |
| 7. 山東省対外経貿職工技術培訓中心 | 8. 法律互助中心 |

山東省国際経済貿易連合会

刘国栋 会長(中央)



2. 青島海潤投資集團有限公司 (Qingdao Hi Run Investment Group Co., Ltd.)

▲住 所：山東省青島市福州南路6号

Tel: 86-532-85734043

Fax: 86-532-85735849

▲総 裁：郑 山 洪 (Zheng Shan Hong)

青島海潤投資集團有限公司は、2000年に山東省絲綢進出口公司を基盤として組織改革が行われ、山東省絲綢進出口集團公司、山東德潤創業投資有限公司および人民政府が出資・投資して設立された公司である。この集團は、10の関連子会社と9の関連工場を擁し、集團の総登録資本額は1,100万人民元で、主に生糸、絹織物、衣料品、その他の服飾品などを生産し、貿易業務を行っている。

全世界に対する貿易額は、1.8億米ドルに達し、中国の全輸出入企業の500強の企業の一つに入っている。本集團は、“厚德重才、尚潤惠仁”の趣旨を受けて多元的かつ集团的に、“会社の友好発展、富裕な従業員を成育する”という考えを堅持し、内外の新しい顧客に対し互惠の強調と協力を持って大いに受け入れ、相互発展させることを目的としている。

本集團は、設立当初、政府の国有資本が49%、集團資本が51%であったが、更なる飛躍を図り2000年に国有資本100%を社員が保有するに至り、本年1月に民營集團として青島海潤投資集團有限公司のグループの一員となった。

職員数は168名、シルク関連の製糸、製織、衣料品の生産部門、物流・倉庫部門および貿易部門組織を有し、香港、日韓、欧米、インド、中近東などの700社以上の企業との取引を行うなど大きく改革された。

1980年代当初の山東省絲綢進出口分公司は、北京の絲綢進出口總公司の強い管理を受けて改革が進まなかったが、1989年の経営難から組織改革が始まり、總經理を始めとし各部門の担当者を全て解雇し、製糸、製織、製品及び輸出入部門も再構築され、山東省絲綢進出口集團公司として株式会社として発足した。總經理として王建華氏が公司建て直しの改革を進め軌道に乗せた。

その後、1998年鄭山洪氏が總經理に就任し、2000年に青島海潤投資集團有限公司董事長、2004年にグループ会社の代表による投票、選挙によって海潤投資集團の總裁に推挙され今日に至っている。社員が株を保有し株主になることによって労働意欲を増進させる一方で、公司としては今までにレピア織機工場やインテリア工場を買収し、また、協力工場の斡旋などを積極的に行っており、絶えず良い商品を生産し全世界の需要に答えられるようなもの作り、実力のある公司作りを考えている。また、当公司所有の7階建ビル「絲綢大廈」の1階から3階までのフロアを賃貸するなど不動産業事業も展開している。

青島海潤投資集團有限公司組織

- ・機能部門： 総裁弁公室、財務、人事管理などの非営利
- ・製糸部門： 山东英信茧丝貿易有限公司 山东安信貿易有限公司
(原料、絹紡糸、短纖維など)
- ・製織部門： 山东正信纺织有限公司 山东隆信日用品发展有限公司
(織物、服飾など)
- ・製品部門： 山东春信纺织服装有限公司 山东瑞信纺织服装有限公司
山东锦信纺织服装有限公司
(製品類)
- ・貿易部門： 山东宇信有限公司
- ・物流部門： 山东貴信物流貿易公司
- ・倉庫部門： 山东潤信物流貿易公司
- ・服装工場： 山东元信纺织服装有限公司

新たな改革

- ・貿易部門： 山东海潤有限公司
- ・蠶絲部門： 山东恒潤有限公司
- ・製糸部門： 山东海通有限公司
- ・蠶種部門： 山东廣通有限公司
- ・投資部門： 山东德潤有限公司（不動産：山东貴信有限公司）

(注) 部門の公司以下に機能的に下部公司が置かれる

集團の現在の関連・協力工場

臨朐海潤織造有限公司
萊陽海潤絹紡有限公司
文登正信織造有限公司
萊陽安信纺织有限公司
山东邦泰捻絲有限公司

乳山海潤絲業有限公司
廣西上林海潤絲業有限公司
臨朐正信織造印染有限公司
五蓮春信家纺有限公司

青島海潤投資集團有限公司

郑 山洪 総裁 (中央)



参 考

「新华锦集团 (HiKing Group)」

▲住所：中国青島市東海中路11号甲

Tel：86-532-5967056

Fax：86-532-5977001

▲董事長（兼）總裁 張建華（Zhang Jian hua）

新華錦集團は、山東省人民政府が出資して設立した国有独資有限責任会社で、2002年8月に設立された。当初、新華錦集團は、山東省紡織品進出口公司、山東省工芸品進出口公司、山東省の特芸品進出口公司、中国出口商品基地建設山東公司、中国包装進出口山東公司の5公司が中心となり共同で新華錦集團を創設した。

新華錦集團は、理事会において各々の会員企業単位で緊密な協調体制をとり、互いの情報を共有し統一した企業理念を標榜することによって、対外貿易、金融投資、土地建物及び物流の経営戦略を推し進め、会員企業の相互発展に寄与することを目的としている。

現在は、21の会員公司与欧米、香港、韓国、日本、シンガポールなどの海外事業部が9公司を有し山東省最大の貿易公司となっている。

会 員

新華錦集團有限公司	山東魯錦進出口集團有限公司
山東省工芸品進出口集團股份有限公司	山東錦宣紡織有限公司
山東盈商針綿織品進出口有限公司	山東欣中基國際貿易有限公司
中国包装進出口山東公司	山東錦立泰進出口有限公司
山東易通達物流有限公司	山東錦源房地產開發有限公司
山東錦茂進出口有限公司	山東海川集團控股公司
山東省紡織品進出口公司	山東海川國際有限公司
山東錦豐紡織有限公司	中国出口商品基地建設山東公司
山東海川對外貿易有限公司	山東省紡織品進出口青島華銳貿易公司
山東錦岳經貿有限公司	山東錦橋電子商務有限公司
山東錦瑞經貿有限公司	

（当初、本集團に表敬訪問する予定だったが、日程、また時間的に困難であったために訪問できなかった。本集團は主要品目の生産から運輸、物流、保険、貿易まで一貫体制を整えた中国でも有数の総合集團である。）

3. 青島綺麗高級時裝有限公司 (Qingdao Cherry High-grade Fashion Co., Ltd.)

▲住所：青島市城陽区仙山東路23号

Tel: 86-532-87871077

Fax: 86-532-87872658

▲董事長&總裁 趙明耀 (Zhao Ming Yao)

青島綺麗高級時裝有限公司は、山東綺麗集團（旧山東省服装進出口集團公司）のグループ7社の一つで、1991年に日本企業の独資で設立された。第一工場は城陽区の丹山工業園に位置し、従業員400人、婦人衣類を中心に月約5万pcsを生産している。マシン350台を中心に付属機械類が整備され、第二工場は、黄島經濟技術開發区に位置し、従業員450人、婦人衣類を中心に月約6万pcsを生産している。高速マシン300台を中心に付属機械類が整備され、内外において高い評価を得ている。工場は輸出権を取得しており約50%が直接貿易で、残りは山東華麗集團を通して一部日本、韓国への輸出されている。輸出仕向け地は70%以上が欧米向けに輸出され、全国でも有数の貿易金額を保持している企業である。

サンプル展示をみる限り、婦人衣類を中心に多種多様なデザインの生産が可能で、自社企画のオリジナルデザインはなく、全てOEM生産である。日系企業とは、パートナーシップを結び来料加工を中心に生産し、手帳の管理も当工場が行っている。一部のブランド品の残反は滅却処理をしているが、大半の残反については日本側と調整しながら管理している。日本や韓国向けの短納期、小ロット対応の生産も可能であるが、スペースと価格次第である（小ロットの場合、1,000枚を加工賃1倍とすると600枚で2倍、300枚で3倍となる）。輸出の70%を占める欧米向けの商品は、量販店向けの中級品以上の大量生産体制をとっており1スタイル当たり平均2~3,000枚のオーダーである。参考までに日本のオーダーは1スタイル平均600枚前後である。納期はシーズンによって異なるが通常は1ヶ月以内で平均2~3週間を要する。また、稼働時間は1工程で8時から18時までであるが残業が比較的多い。平均月額賃金は各種手当を含め800~1,000人民元である。



青島綺麗高級時裝有限公司

傅巧婷 總經理助理（中央）

《江蘇省》

4. 江苏苏豪国际集团股份有限公司 (Jiang Su SOHO International Group Corp.)

▲住所：南京市中山南8号

Tel : 86-025-84785159

Fax : 86-025-84785118

▲総経理 王兴明

江蘇蘇豪國際集團股份有限公司は、1979年に中国絲綢進出口總公司の分公司として設立され、その後、江蘇省絲綢進出口集團公司としてシルクの原料、素材を中心とする国内唯一の貿易会社と発展してきた。現在は、粗原料に限らず服装品、シルク製品以外の日用輕工業品、梱包材料、船舶、玩具などの生産を始め運輸、物流など幅広く事業を展開している。

本集團の職員は500名で、資本金1.2億人民元と、シルク製品を取り扱う貿易会社の中で最も大きい公司の一つであり、日本、韓国、香港など東南アジア、欧米を中心に100カ国以上の1,000社余りと取り引きを行っている。2004年の貿易額は6億米ドル（輸出5億米ドル、輸入1億米ドル）。シルク粗原料の輸出が大きなシェアを占めていたが年々減少し、現在ではシルク衣類を始め多種多様な製品での輸出が増加している。

江蘇蘇豪國際集團股份有限公司

王兴明 総経理（中央）



江蘇蘇豪國際集團股份有限公司組織

- ・機能部門：総経理弁公室、財務、人力資源などの非営利分公司
- ・蠶絲部門：江苏苏豪国际集团蠶絲分公司
- ・絲綢部門：江苏苏豪国际集团絲綢絲綢分公司
- ・服装部門：江苏苏豪国际集团服装分公司、江苏苏豪国际集团針織分公司
- ・技術・貿易部門：江苏苏豪国际集团技術貿易分公司

子会社、協力工場は苏豪国际贸易有限公司、苏豪实业发展有限公司など約15社が置かれている。

蚕糸業の現況

◇繭と生糸の生産状況について

- ・ 2004年の中国全土における桑畑の面積は1,170万ムー（670sm/1ムー）で、うち江蘇省の桑畑面積は約150万ムーで13%のシェアを占め、繭の生産量は、中国全土では54.7万トンで、うち江蘇省11.2万トンで20%のシェアを占める。また、生糸の生産量は、中国全土では8.5万トンで、うち江蘇省2.2万トンで26%のシェアを占め、浙江省に次いで2位となった。
- ・ 2005年の春繭の生産量予測は、約5万トンで昨年同期比では増加が見込まれるが、繭は高値で取引され昨年比の値上がり率が13%増と言われている。

◇当会社の糸類の輸出状況について

- ・ 糸類の輸出額は、山東省、浙江省、広東省の旧絲綢公司と同水準で、当公司では生糸、撚糸、絹紡糸、絹紡細糸、副蚕糸等を生産しているが、海関総署統計によると絹撚糸、副蚕糸は全国1位の輸出高である。
- ・ 生糸の輸出高は、過去年間1,700トン前後であったが、年々原料から織物、製品類など付加価値商品の輸出に移行しているために減少している。本年の糸類の年間輸出は、生糸は500トン、絹撚糸が450～500トン、絹紡糸が350トン、副蚕糸が380トンと見込んでいる。

5. 南京云錦雲錦研究所&博物館

▲住所：南京市茶亭東街240号

Tel：86-025-86518580

Fax：86-025-86518644



「雲錦」とは古くから南京に伝わる錦織であり、模様は艶やかで「雲や霞の如し」といわれ、また、図案に雲が良く使われることから「雲錦」と称されるようになった。「雲錦」は蘇州の「宋錦」、四川の「蜀錦」と並んで中国三大錦と呼ばれている。「雲錦」は元、明、清の皇室御用産品として発展し今日に至るまで約1500年の歴史を有する。

「南京雲錦」は伝統を踏襲し、木製の織機、長さ5.6メートル、幅1.4メートル、高さ4メートルの伝統的な「大花楼」と呼ばれる織機で、「花工」と呼ばれる縦糸を操る職人が織機の上で操作し、織手と呼ばれる横糸を操る職人が下部に座り、二人が息を合わせて織り模様を織り込んでいくが、繊細で精緻な「雲錦」は一日にせいぜい5～6ミリ程度しか織れないので、一着織り上げるのに3～4年を費やすことがある。

中国では、宋時代（960～1279年）に縐子組織や金欄織り込んだ袈裟、また、元時代（1206～1368年）には、その勢力を背景にして金糸を豊富に使った織金技術が発達し、明（1368～1644年）、清（1644～1911年）時代に入って、「大花楼」と呼ばれる2階建ての空引機により、紋糸による経糸操作と、それぞれ独立した揚げ綜統、下げ綜統の駆動とを組み合わせて一層繊細華麗な文様を織り出す「粧花緞」のような織物が作られるようになった。

元時代半ばの1300年頃に南京に「東西織染局」が設けられ、その後の明、清時代にも、名前は変わっても皇帝その他政府高官用の衣装を作り出す部局の活動が続いたことから、この700年間で南京雲錦の新しい発展の時代と呼ばれている。

6. 江苏苏豪国际集团丝线实业有限公司（JG-01工場）

▲住所：無錫市濱湖区馬山峰影路69

Tel：86-510-5998928

Fax：86-510-5997983

▲董事長：刘正平（Liu Zheng Ping）

SOHOグループ傘下の企業で1995年に設立された。現在140台の撚糸機を保有し、年間350トンの撚糸生産を見込み、売上げは1.5億人民元を計画している。従業員は約200名で、うち熟練工は160名、技術者20名以上を有し、3交代制で稼働している。生産量のうちイタリアを中心に米国、日本、インドなどへ輸出している。1995年から米国のJohnson & Johnson独占による医療手術用縫合糸の生産を手がけているが、現在フル稼働状態であり、本年末までに増機し対応する予定である。

当社は、撚糸専門工場として内外に認知されているが、事業の多角化、合理化により、撚糸以外に絹紡糸、織物、工芸品なども生産している。織物は、嵯州市のネクタイ工場の依頼により、新たに織機820台を設置し先染め織物生産を開始した。2000年にISO9002を取得し品質も向上している。日本の諸撚糸の規制があったときは、実需に合った撚糸輸出ができなかったが、従来から日本の技術・専門家と協力して生産、品質管理を整えてきたこともあり、自由化されたことにより今後は輸出を伸ばす予定である。

江蘇省蘇豪國際集團絲織實業有限公司（SOHO JG-01）

刘正平 董事長（中央）



7. 苏州东吴丝织厂有限公司 (Suzhou Dongwu Silk Weaving Mill CO., Ltd.)

▲住所：蘇州市新区濱河路782号

Tel：86-512-85187900

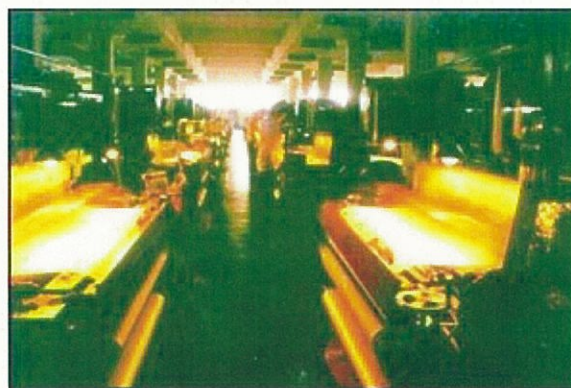
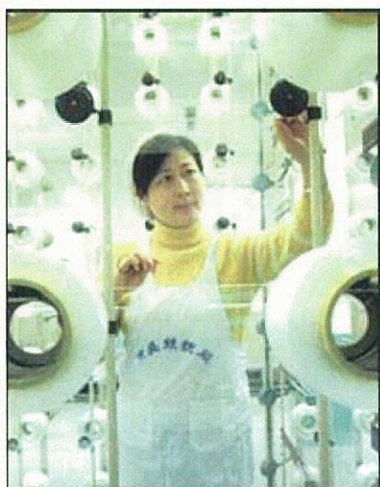
Fax：86-512-68086712

▲総経理 鄧 健 (J i a n D e n g)

旧蘇州市人民路で85年間の歴史を有し国営企業として操業していたが、人民政府の優遇奨励策によって段階的に現在の新区に移転し、4月に民営化となり漸く本年6月中旬に本体が入居した。従業員は、国営工場の時のまま採用し950名、6時間で4交代制を敷いて、シルク100%織物を主体にシルク交織、化合織織物を年間3,500万メートルの生産予定である。

国営時代から品質重視で生産してきたために市場価格ではやや高めにプライスを設定している。全体の織機台数は、シャトル織機220台、レピア織機56台、A J L、W J L織機130台で、織機幅は最大140cmまで可能である。また、A J L織機及びW J L織機は、主にポリエステルとレーヨンの交織で裏地を生産し、輸出相手国は、日本、香港、イタリア、ドイツなどであるが、化合織の裏地は、南通市にある日本の独資企業売り渡し、レーヨンの裏地は、ドイツに輸出している。

2005年の年初からシルク市況が高騰したこともあり、また、先物取引による影響と考えられ、4～5月頃の製糸工場の繭在庫が払拭し各企業との春繭の動向如何が不安要因の材料になっている。



参 考

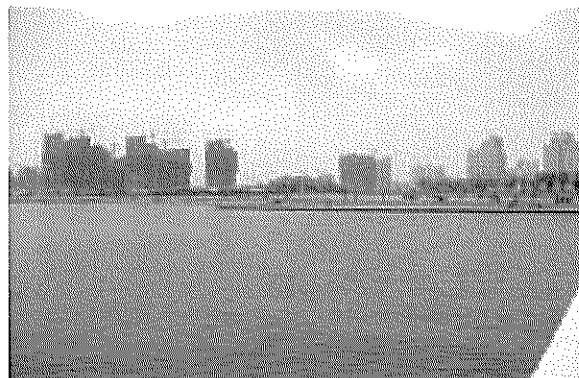
「苏州开发区」

蘇州は揚子江デルタ地帯の中部、江蘇省南部に位置する。東は上海、南は浙江省、西は無錫、北は揚子江となっている。全市総面積は8,488平方キロ、総人口は583万人。張家港市、常熟市、太倉市、昆山市、呉江市の五つの下部縣市を管轄している。そのうち、市街区の面積は1,650平方メートルで、人口は212万人となっている。

現在、蘇州には巨大な経済開発区が2箇所存在する。「中国・シンガポール工業園区」（通称シンガポール区と呼ばれる。）と「蘇州高新技术産業開發区」（通称新区と呼ばれる。）である。シンガポール区は、蘇州市街の東の金鷄湖側の敷地面積が260平方キロメートルで、この区は中国政府とシンガポールとの合作による開発区であるが、欧米企業の進出が圧倒的に多く、日本の企業はクボタ、TDKなどが進出している。

これに対して、新区は蘇州市街の西側に隣接し多くの景勝地を有する風光明美な地に開発された敷地面積258平方キロメートルほどの開発区は、シンガポール区より税制面など優遇措置がとられたことにより、電子・通信、精密機械、ケミカル分野の外資系企業1,000社以上が進出している。投資額によるシェアは日本33%、欧米30%、台湾・香港27%その他韓国東南アジアとなっており、日系企業では松下電器、セイコーエプソン、キャノン、フジフィルム、村田製作所などが進出している。

更に西部地区総合開発事業計画の一つに日本の中小企業誘致のために通安工業区内に「日本工業村」の開発が進められ2005年秋以降にインフラ関連施設が整備され、分譲が開始される予定である。



（金鷄湖から望むシンガポール区）

《浙江省》

8. 浙江凱喜雅國際股份有限公司 (Zhe jiang CATHAYA Internatinal co.,Ltd.)

▲住所：杭州市體育場道117号

Tel：86-571-85195588

Fax：86-571-95192540

▲董事長&總經理 李繼林 (L i J i L i n)

浙江凱喜雅國際股份有限公司は、2002年に浙江省絲綢集團有限公司の優良資産を基に五つの会社の投資によって輸出入の業務を行うことを基礎として設立された。登録資本は1.28億人民元、社員260名で、五つの職能部門、下部に五つの支店、五つの子会社および五つの協力企業を有して、生産から貿易までの業務を行う。2004年の輸出入額は6.5億米ドルを計上し、商品構成では糸類13%、織物類17%、衣類47%、日用品などその他23%と、製品輸出の比率が年々増加している。輸出相手先は、香港・マカオが31%、日本、韓国18%、欧米35%、インド、南東アジア8%、その他国8%となっており、シルク業界、更には浙江省内の対外貿易企業として優秀な成績を収めている。世界の80カ国との対外貿易業務を継承して、1,500以上の企業との取り引き、技術提携をもっている。シルクを中心とする糸・織物類から衣類、生活産品まで子会社、協力工場において高品質の商品の生産に努めている。また、「CATHAYA (凱喜雅)」ブランドは、品質が優良で、その優雅さは業界の広範囲に認められ国際市場の消費者に大変好評を得ている。

日本については、シルク市場の自由化により今後の変化に期待したいが、和装主体の市場であることから現状を打開するには双方で知恵を出す必要がある。中国もWTO加盟以降、原料や織物については自由に売買が可能となった。様々な部分で大きく変化し、自由主義経済下でのマーケットでは「保護すること」より「競争すること」が最優先である。また、繭については、政府主導の適正指導繭価格が定められているが、実際は投機性もあり価格変動が大きく、リスク回避の点でも繭の買付けについては公司の実力を発揮できるようになった。なお、当公司は浙江省絲綢集團有限公司に属し、唯一貿易を行うことができる。

中国経済は、市場開放、完全自由化と言うが全て自由化という訳ではなく、現在、中国は以前のように貿易公司を通さずに工場等の生産段階から直接海外と取り引きすることが増えており、これはユーザーとの関係でユーザーの要求に即対応できるための相乗効果を上げ、今後この傾向が増加していくと考えられる。

浙江凱喜雅國際股份有限公司組織

職能部門：總經理辦公室、人力資源部、財務部、貿易管理部など

分公司：蠶絲、絲織、紡織、服裝、成品

子会社：浙江凱喜雅產品開發有限公司
浙江凱喜雅輕紡進出口有限公司
上海浙江凱喜雅國際貿易有限公司

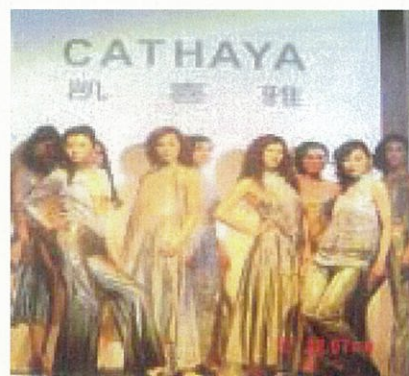
浙江凱喜雅物資進出口有限公司
浙江凱喜雅貿易發售有限公司

關連工場：浙江華開時裝有限公司
嵊州利斯瑪制衣有限公司
浙江華萊順制衣有限公司

杭州華誼服裝有限公司
紹興凱喜雅服裝有限公司



浙江凱喜雅國際股份有限公司
呂 幸副總裁（中央）



9. 浙江华芝丝绸有限责任公司 (Zhejiang Huazhi Silk Co., Ltd.)

(Z-80工場)

▲住所：桐郷市崇福鎮西門

Tel：86-573-8451722

Fax：86-573-8451102

▲総経理 周麗娟 (Zhou Lijuan)

40年間の歴史があり中国国内では労働者の質が高く、技術力が安定し品質、商品管理などが優秀な企業の一つで、従業員は600名、平均月収1,000人民元である。年間の生産量は、関連工場を含め生糸が400トン、絹燃糸が600トンで、原料の繭の購入は、品質の良い産地を指定している。

輸出先は、主にEU、インド、日本であるが、1995年に日本の取引先からの指定工場の称号を得た。品質基準に関しEU、インドはそれぞれ品質の規定は異なっているが品質基準はさほど厳しくない。日本の品質要求レベルが最も厳しく、現在は小ロットでの受注が主体であるが自由化後は纏まったロットを期待したい。

現在は、イタリア、インドから糸類の大量受注の需要があり、また、中国国内での縫製メーカーからの需要も多いことから今後、生糸、絹燃糸のみの生産での拡大は限界があると考えられるため、当面は国内のネクタイ生産関連工場への供給シフトをするなどで対応していく予定であり、今後は糸類での輸出は更に減少していくと考えられる。

また、米国は、インドから繊維製品を輸入していたが、自由化後に中国へその生産拠点をシフトし始めたことにより、本国からインド向けの糸類輸出が減少すると考えられる。今後、このような状況に対応するために、将来はアパレル特にニット分野への進出も計画している。

(訪問した当日は、ちょうど停電の日であったが、年初より繭値が上昇し、買い控えて春繭の増産に期待したが、国内需要が旺盛なために現状のままでは7月までの成約しか履行できない。先約については、繭買い入れ価格がどうなるかによって、糸類のコスト増になるので、繭手当てをどうするかが一番の問題である。このようなことは、20年以上の生産経験を持つが本年ほど厳しい状況に置かれたことは珍しいと総経理は語ってくれた。)

10. 桐乡市华良丝绸有限责任公司（桐乡市华日织造有限公司）

▲住所：桐乡市崇福鎮留良村

Tel：86-573-8352559

Fax：86-573-8351775

▲総経理 张美华（Zhang Mei Hao）

桐乡市華良絲綢有限責任公司是、1994年に個人資本58%、浙江省絲綢公司26%、桐乡市絲綢公司16%の株式を保有して設立された。2003年に貿易権を取得したが、各省の絲綢進出口公司からの受注生産をし、納入している。従業員は、300名で、織機台数は、平織200台、ジャガード30台で、年間220万メートルを生産している。当工場は製糸から製織までの一貫生産で繭の買入れも変動に左右されないよう絲綢公司を通して安定的に購入しているので生糸単品を生産している工場のように原料の変動に応じて価格調整せざるを得ないということはない。

絹燃糸は、浙江省絲綢公司が海外との取り引きの窓口となっており、浙江省絲綢公司が海外取引先の要望に適った燃糸工場を指定している。当工場は当初、主に日本向けの取り引きを行っていたが、欧米から「Z-06」工場と指定されるほどの歴史を持っている。

現在、日本向けには織物輸出だけであるが、今後は、日本が品質に厳しくても商売上では信用があり、一度契約したら必ず実行してくれることなどから、生糸、絹燃糸の取り引きを再開したい。

本年に入って、繭の原料価格の変動が著しいため買い上げリスクが非常に大きいこと、自社で輸出するためには資金が必要であること、また、シルク原料は投機性があるためにこの半年間においても価格が非常に不安定であったことなどにより春繭期待で買い控えが発生していたが、春繭の手当ても適正価格での買入れが困難な状況になっている。

（中国が市場経済体制になってから、中国人は、利益が得られる人気ある商品、例えば、需要があつて价格的に魅力のあつた絹燃糸業は乱立による生糸の争奪が繰り広げられたことがある。絹燃糸の輸出は、限られた工場だけであつたが、自由化されたことから過当競争が起こり、繭、生糸供給がタイトになっているのではないかと総経理は語ってくれた。）

1.1. 杭州富強絲綢有限公司 (Hangzhou Fuqiang silk Co., Ltd.)

▲住 所：杭州市蕭山經濟技術開發區東側

Tel : 86-571-82618831

Fax : 86-571-82615182

▲董事長&總經理 陳張仁 (Chen Zhang Ren)

1994年に蕭山經濟開發區に杭州富強絲織廠、浙江省絲綢集團公司、萊蒙貿易、華潤 (HK) 絲綢有限公司の共同投資により設立された。投資金額は480万米ドル、敷地面積4万平方メートル、工場築面積2万平方メートル、従業員400名で貿易輸出権を取得している。生産品目は、ニット衣料を始め生糸、撚糸、先染め糸、白生地、サンドウォッシュ織物、トリコット編物などが中心で生産商品の約80%を日本、韓国、香港、欧米向けに輸出している。(精練整理加工機チーズ染め機を保有。) 年間の生産量は、白生地600万sm、先染め織物150万sm、トリコット10トン、ニット衣類30万pcsである。

過去、対日向けの和装用の裾もの(羽二重、綸子など)を中心に生産していたが、このころからノウハウの蓄積、将来を見据えた粗原料から製品までの一貫生産を手がけ、現在では投資金も完済し、100%自己資本による民営企業である。カットソーの婦人衣料はフォーマルドレスからセーター、ガーディガン、タンクトップなど一部自社デザイナーによるブランド品を持ち、広く各国の需要層に応える各上商品を提供している。



杭州富強絲綢有限公司 陳 董事長 (中央)

あ と が き

今回の訪中は、日本のシルク輸入管理制度の廃止による自由化が中国の主要シルク産地にどのような影響を与えるのか、それとも中国の市場経済体制の変革のなかで、何ら影響はないのかなどを調査することを目的に派遣されました。訪問地は、改革が著しいと言われている山東省の青島市をスタートに江蘇省の南京市、無錫市、蘇州市それから浙江省の杭州市、桐郷市を訪れましたが、6月23日の日本の朝は小雨交じりの肌寒い天気でしたが、青島の流亭空港に着いた時は日中35度を越える真夏日、背中の汗が流れる状態で、南に下る度に暑さが増していきました。

過去の絲綢進出口会社の時代には、繭、生糸、絹撚糸等の原料、織物、編物等の素材を中心に買入れと貿易の権限をもって、莫大な収益をあげていましたが、次第にアパレルメーカーを始め縫製企業が外資企業との合併、合作により、独自に粗原料の調達、輸出権を取得して大きな力となっていきました。このような時期に各省の会社は、紆余曲折を経ながら、省の人民政府、有力企業の投資及び国内の有力関連企業を傘下に置きながらのグループ、集団企業化が進められ、2000年以降には、政府の借入れ資金の返済を行うなど名実ともに民営企業として営業活動を行っているとのことでした。

各省の集团公司のトップは、過去の難局を乗り越え黒字企業になったことへの自信が溢れ、さらには収益を飛躍的に伸ばすための方策に取り組んでいることが強く感じられました。しかしながら、都市部の交通渋滞や繁華街のネオンの華やかさや冷暖房などによる電力事情を考えると自家発電を持たない工場は、この夏場での不定期の週2回程度の停電は致命的だと思われます。

日本とのシルク製品の貿易は長い付き合いにありますが、現在では欧米、インド、東南アジア向けの貿易、特に製品での輸出が年々増加しているのが現状にあります。中国の主要都市の近代化、また、人口の集中はただ驚くばかりで、都市部と地方の収入面を含めた格差が拓く一方にあり、養蚕農家はその最たるものといえます。将来を見据えた対策が講じられているようですが、現状のままの養蚕業では大きな発展は見込めず益々繭原料供給がタイトとなり、さらに生糸、絹撚糸の国内の縫製メーカーへの引渡しが増加する一方で、粗原料での輸出は、数量、価格とも厳しくなるのではないかと懸念されます。

最後に当組合の絹委員会小組の訪中を受け入れて頂いた山東省、江蘇省、浙江省の関係の集团公司、各工場の責任者の皆さんに心から感謝申し上げます。

(事務局)